

「大発見！お月様みつけた！」

9月24日（火）

ほし1組



～はらぺこあおむしプロジェクト Part10～

お月様のことを知り始めてから2週間が経ちました。この2週の間にもお月様は細い形から満月へと変わっていき、子どもたちの興味も膨らんでいきました。「あおむしの成長」も「野菜の生長」も「氷」もすべて形が変わっていくものでしたね。「変化する」ということに興味がある年齢なのだなあと伝わってきます。

今回は子どもたちの声から上がった
「大発見！」エピソードをお伝えします♪



「お月様って1個やったよ」

「お月様って3個あるもん」「10個あるし」

何度もお月様を見ているうちに、月は1つだという答えに気づき、サークルタイムで「1個だよ」と伝える子がいましたが、中には「3個」「10個」と言う子もいました。保育者が訳を聞いてみると「カブトムシの月、クワガタの月、蝶々の月の3つだよ。」「虹色の月が10個あるんだよ」と、とっても可愛い返事が返ってきました♡自由で正解のないファンタジーの世界に生きる年齢ならではの発言に、その想像力や気持ちも大切にしたいなあと思い、数の正解は秘密にすることにしました。

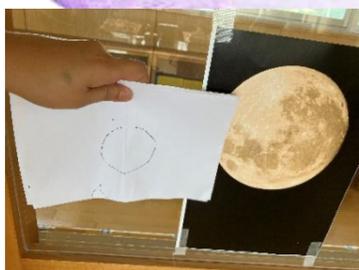


「月の形って変わるんやよ」

「こないだは細くて今日は丸」

「細いのはバナナの形」

形の変化に気づき「今日はどんな形かな」とカレンダーを見たり、実際に見て報告してくれる子が増えました。Mちゃんは絵を描いてみんなに説明してくれましたよ。



「お月様小さかったよ」

「僕くらいの大きさやったよ」

「僕は大きいと思ったけど…」

自分で見た月の大きさを一生懸命伝える子どもたち。大きさの考え方は人それぞれだね。と伝え合いました。

「車に乗っとったらお月様がついてきたんやよ」

「私も！ついてきた！」

自分の体験をサークルタイムで話すことが上手になってきました。大発見！みんなも試してみたくくなりますね。